

中国研究所 2023年第1回定例学術研究会

日 時 3月25日(土) 13:30~17:00

会 場 東洋文庫2階講演室(対面) + Zoom(オンライン)

参加費 無料(中国研究所所員・研究会員以外の方もご参加いただけます) *事前登録制

◇発表1

報告者 王天驕(名古屋大学大学院)

論 題 在日華僑学校の国語教科書と児童作文
——1936年「排日」教科書事件前後を中心に

コメント 曾士才(法政大学)

◇発表2

報告者 董子昂(北海道大学大学院)

論 題 「二重の周縁」の構築
——世紀転換期における漢籍とフランス語旅行記の中の雲南言説

コメント 武内房司(学習院大学)

〈参加申込み〉

参加をご希望の方は、対面・オンラインともに、こちらの Google フォームよりお申し込みください。申込締切は3月24日(金)正午です。

<https://forms.gle/Kd6xvY4eq2mbZLud7>

*申し込みいただいた方には、前日に Zoom のリンク先をお送りいたします。

《お知らせ》定例学術研究会の開催方法の変更について

2016年1月以来実施しておりました「定例学術研究会」は2020年9月を最後にしばらく開催していませんでしたが、来たる3月25日に久しぶりに開催することになりました。このたび、本研究会の開催方法を次のとおり若干変更いたします。ご応募お待ちしております。

1. 発表者の募集

中国に関する研究を発表する方を、中国研究所の所員・研究会員に限らず、広く募集して

います。特に、ベテラン研究者と若手研究者の交流促進の場でもありますので、大学院生・若手研究者の応募を歓迎します。

応募者は、発表希望時期を明記の上、論題と発表要旨（300字）を本研究所のメールアドレス（下記）に送信してください。応募者数その他の事情により、発表日の調整をお願いすることがあります。申込期限は、発表希望日の2か月前の第1金曜日までとします。

なお、発表後に希望に応じて『中国研究月報』に報告要旨を掲載することもできます。

2. 開催日程

年4回の開催を原則とし、開催月第1土曜日の午後を予定しています。

オンライン開催の場合もありますので、関東地方以外の地域からの発表・参加も可能です。

3. 参加者

本研究所理事、『中国研究月報』『中国年鑑』編集委員が複数名参加し、司会とコメンテーターを担当します。一般参加者は所員・研究会員に限らず参加できます（参加費は無料）。下記連絡先までお申し込みください。

連絡先) 中国研究所事務局 E-mail : c-chuken@tcn-catv.ne.jp